

上花輪浄水場問題 市長が新聞報道で情報操作！？

根本市長は、選挙終了後の2日後に「上花輪浄水場を廃止し、施設理由として老朽化に伴い建て替えて50億円、高度浄水処理に20億円かかる」とし、その費用が古い水道管の交換に使いたい」と新聞に大きく報道しました。選挙が終わった途端に市長の独断(職員も知らない)でこのようなことを決めてしまったこと、正確なメリット、デメリットの検証が何もされず、市長の意図が強く残るやり方に非常に憤りを感じています。

平成23年度の『野田市水道事業長期計画』では、①現状の処理状況に関する詳細な調査や供給水質の目標値の設定を行った上で、今後の望ましい浄水処理方式の在り方(高度浄水処理の必要性)を検討することが望ましい②上花輪浄水場は、昭和48年に建設され老朽化に伴い施設の更新が必要となるため、更新時は耐震性能を備えた施設として整備し、大規模地震にも重大な影響が出ないような浄水場とするとされています。しかし、詳細な調査や供給水質の目標値の設定等は、何も行われていません。長期計画には検討事項としている問題を、何の金額的な数値の試算もされず、正確な情報を提示できる段階ではないのに、なぜ市長の独断で突然今回このような新聞発表をしたのか、市長独特の何か急ぐ理由でもあるのではないのでしょうか。新聞報道を読んだ市民の方から、「既に上花輪浄水場に高度処理を付けて立て直す金額の70億円はあって、それを老朽化した水道管に充てるということなのですか？北千葉の浄水場には近々高度処理施設ができるのですか？」という質問を受けました。上花輪を建てるお金は、当然予算化していません。また、北千葉浄水場の高度処理施設も平成26年の12月に完成予定でまだ2年以上あり、その間の安全性は、連絡体制の強化により、担保されなければなりません。(今回のホルムアルデヒド検出の原因物質については、国でも法律で規制に動いています)計画もないのに急いで決定することは出来ないはずで

自主水源を安易に手放すことには反対！

現在の野田市の水源内訳では、北千葉浄水場が約75%、東金野井浄水場の地下水に約4%、上花輪浄水場が約21%を占めています。上花輪を廃止して、東金野井の4%を除く殆どを北千葉にしまうと、約96%を北千葉に頼ることになり、デメリットが大き過ぎます。上花輪を存続させることは、災害などに備えて(北千葉に万が一の事故があった場合など)自主水源を確保しているというメリットがあると考えます。

市民参加の検討委員会を！

上花輪浄水場を廃止するメリット、デメリットを市民に提示して検証していくプロセスが必要だと考えます。しかし、市長は7月議会において一足飛びに住民投票を実施する考えを示しました。住民投票には馴染まない問題であると指摘します。今回のような市民生活に大きく影響することについては、市民参加の検討委員会で試算を明示し、情報公開をして市民と十分な議論を実施した後、行政として賢明な判断をしていくべきだと考えます。

平和のつどい・のだ 2012 ～未来このままで大丈夫？～

のお知らせ

8月18日(土) 9時～

- ★オープニング：沖縄エイサーで幕開け！
- ★記念講演(前広島市長)秋葉 忠利さん
「核のない平和な21世紀を創るための
市民と都市の役割」(参加協力券500円)
- ★映画「夢」黒澤 晃監督作品

8月19日(日) 10時～

- ★「ともしび」のやぎさんとうたおう
- ★平和歌声喫茶(事前にお申し込みください)
- ★講演 河合 弘之さん
「原発と憲法」
- ★ぶっちゃけトーク